

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 26日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0174300434		
法人名	有限会社マザープランニング		
事業所名	グループホームぼぷらの家		
所在地	上川郡標茶町富士5丁目16番地 (電話) 0154-85-1165		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年11月13日	評価確定日	平成19年12月26日

【情報提供票より】( 19年10月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7人, 非常勤 2人, 常勤換算	5.5人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	(有) (円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	月額	30,000 円		

### (4) 利用者の概要( 10月 25日現在 )

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1	要介護2	2		
要介護3	2	要介護4	4		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 82.1 歳	最低	71 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	標茶町立病院・磯分内歯科診療所
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は平成16年4月に閑静な住宅街に開設された。近郊には公園があるとともに、近隣には商店街があるなど恵まれた環境に位置している。また、事業所の敷地内には花壇や菜園があり、利用者は秋の収穫を楽しみしながら暮らしている。ボランティアの受け入れ等積極的に行っており、地域との交流も図られている。今後、運営推進会議を活かし、ますます地域に溶け込んだ生活への取り組みが期待できる事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における課題であった運営理念の啓発について、運営推進会議や行事を通じて地域や関係機関と連携を取り、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は自己評価・外部評価の意義を理解しており、ケアカンファレンス時に意見を出し合い、全員で自己評価に取り組んでいる
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	平成19年2月に運営推進会議を設置し、事業所の運営内容等について報告している。構成員は事業所の行事に参加し、直に様子を確認し意見を出している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月に1度事業所便りを発行しており、利用者の暮らしぶりや健康状態等について家族に報告している。また、職員は家族の来訪時に積極的な声かけをし、気軽に意見・要望等を伝えやすいような雰囲気づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内の行事に積極的に参加している。また、ボランティアの受け入れや事業所の行事に近隣住民を招待するなど、地域との交流に努めている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との関係性を重要視した事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時に理念について話し合い共有を図り、実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事への参加やボランティアの受け入れ等により、地域との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は自己評価・外部評価の意義を理解しており、全職員で話し合いながら自己評価に取り組んでいる。また、外部評価の結果を踏まえ、改善に向けて努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	平成19年2月から運営推進会議を開催し、事業所の運営状況等について報告している。	○	今後、開催回数を重ね、地域住民の参加によってより一層活発な意見交換を行うことが期待される。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	町の担当者と密に連絡を取り、助言を受けるなど、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	○	今後、担当者と連携を図りながら認知症の知識や技術を地域に還元する取り組みに期待したい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月に1度事業所便りを発行し、利用者の暮らしぶりや健康状態等について家族に報告している。また、毎月送付している利用料の請求書の下に通信欄を設け、利用者の状態等を伝えている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	手紙や来訪時の声かけにより、家族が気軽に意見・希望等を伝えやすいような雰囲気づくりに努めている。また、家族から意見等を受けた場合はカンファレンス時に職員間で話し合い、日々のケアサービスに活かしている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動や離職があった場合は、十分な引継ぎ期間を設けるなど、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は管内のグループホーム連絡協議会主催の研修会に参加する機会を設け、職員の育成に取り組んでいる。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管内のグループホーム連絡協議会主催の勉強会や研修への参加のほか、地域包括支援センターとの交流の機会を重視し、質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族が事業所を見学したりアセスメントシートの活用による利用者の生活歴の把握に努め、利用者が徐々に事業所の雰囲気馴染めるよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者から人生の先輩として学ぶ姿勢で接し、支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は日々の利用者との会話や行動・表情等から一人ひとりの意向の把握に努め、その人らしい暮らしとなるよう努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員を含めて職員間で話し合い、利用者主体の介護計画を作成している。	○	今後、家族の意見・要望等も採り入れ、全職員で話し合いながら介護計画を作成することが期待される。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	職員担当制により、利用者の状況変化に対応できるよう工夫がなされているが、介護計画の見直しに活かすまでには至っていない。	○	今後、3ヶ月ごとの定期的な見直しを行うとともに、利用者本人・家族の状況の変化に応じてそのつど話し合い、現状に即した介護計画を作成することが期待される。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	利用者・家族の状況に応じて、通院や買い物などの外出時の送迎や理・美容院への付き添いなど、柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医や協力医療機関での受診支援を行っており、密に連携が図られている。また、利用者本人・家族の了承のもと、状況に応じて職員が同席して医師の説明を聞き、適切に対応できるよう取り組んでいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向けた対応について、現在検討中である。	○	今後、家族を交えて話し合い重度化・終末期に向けての方針を共有すると共に、医療機関とも連携を図りながら支援することが期待される。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄や手洗いの誘導の際にはさり気ない声かけを行うなど、職員は利用者の誇りを損ねることのないよう対応している。	○	個人情報の取り扱いに関して同意を得ているが、今後、関係者間における情報を共有化等を明記した書類を整備することが期待される。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者のペースを大切に、一人ひとりの希望に応じて支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を採り入れた献立を作成し、状況に応じた支援を行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3回以上の入浴支援を行い、入浴中には音楽を流すなど、利用者が楽しめるよう工夫している。また、町立施設内の浴場を利用するなど、利用者の体調や希望に応じて柔軟支援に取り組んでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の力に応じた役割ごとや、民謡・ビデオ鑑賞などの楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候を考慮し、散歩や買い物などへの外出支援を行っている。また、一人ひとりの体調や状況に応じて日光浴や近隣公園までの散歩など、日常的に戸外にでかけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠しているが、日中は鍵をかけておらず、利用者の安全面に配慮しながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得ながら年に2回避難訓練を実施している。また、地域の商店や自治会からも協力が得られるよう働きかけている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の希望を採り入れた献立を工夫し、一人ひとりの体調や状況に応じて水分・栄養バランスを摂取できるよう支援している。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は明るく、一人でも過ごせるようなスペースも確保されており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には利用者が使い慣れたカーテン・ベッド・絨毯等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。